

ファンド・オブ・オールスター・ファンズ

追加型投信／国内／株式

作成対象期間：2021年9月28日～2022年3月28日

第 43 期 決算日：2022年3月28日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、わが国の株式を実質的な主要投資対象とし、日本株運用で実績のある運用会社が運用を行う複数のファンドへ投資を行うことにより、中長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしく御願い申し上げます。

(注) 当運用報告書の本文におきましては、投資信託証券の名称について「(適格機関投資家用)」の表記を省略させていただきます。

第43期末 (2022年3月28日)

基準価額	11,268円
純資産総額	7,296百万円
騰落率	-11.9%
分配金合計 ^(*)	0円

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufig.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

 **MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufig.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

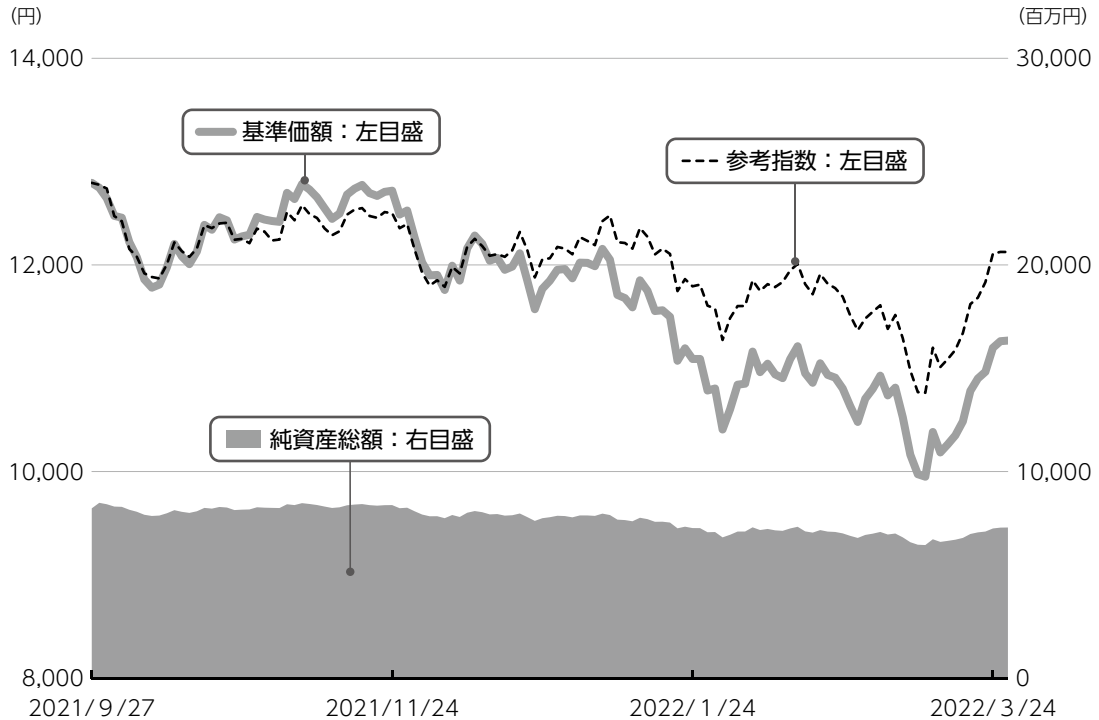
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第43期：2021年9月28日～2022年3月28日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第43期首	12,794円
第43期末	11,268円
既払分配金	0円
騰落率	-11.9%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ11.9%の下落となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

下落要因

国内株式市況の下落を受けて、組み入れを行った投資対象ファンドのうち「三菱UFJ国際日本・小型株・ファンド」などがマイナスに影響しました。

※参考指数は、東証株価指数（TOPIX）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※参考指数は、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2021年9月28日～2022年3月28日

▶ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	61	0.521	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(12)	(0.099)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(47)	(0.400)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	61	0.522	

期中の平均基準価額は、11,669円です。

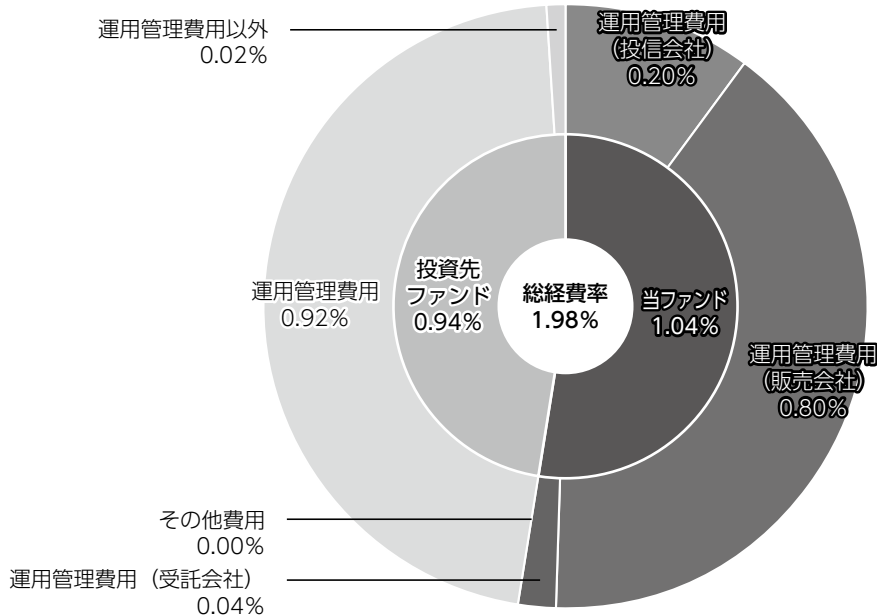
- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.98%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.98
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.04
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.92
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.02

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

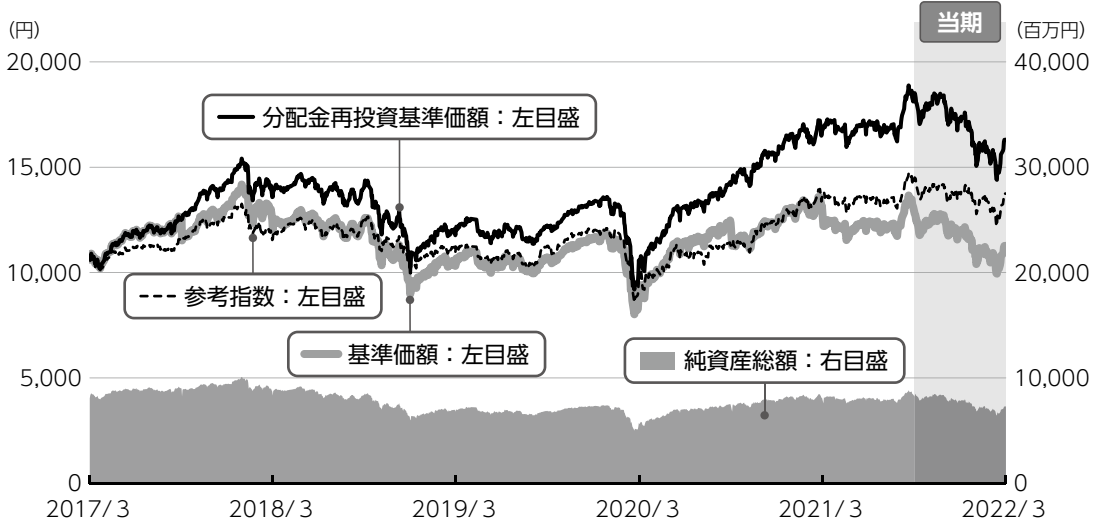
(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2017年3月27日～2022年3月28日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、参考指数は、2017年3月27日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2017/3/27 期初	2018/3/27 決算日	2019/3/27 決算日	2020/3/27 決算日	2021/3/29 決算日	2022/3/28 決算日
基準価額 (円)	10,712	12,009	10,541	9,047	12,218	11,268
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	1,500	100	50	2,300	600
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	26.9	-11.5	-13.8	62.9	-3.5
参考指数騰落率 (%)	—	8.3	-3.2	-13.5	41.8	-0.1
純資産総額 (百万円)	8,052	8,329	6,946	5,609	7,581	7,296

※ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

参考指数は、東証株価指数（TOPIX）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

投資環境について

国内株式市況

国内株式市況（東証株価指数（TOPIX））は期首（2021年9月27日、対応するTOPIX終値は2021年9月24日）に比べて5.2%下落しました。

日本の株式市況は、主要中央銀行による金融引き締めへの警戒感や、ロシアによるウクライナ侵攻とロシアに対する各国の経済制裁が世界経済に与える影響への懸念などが下押し圧力となり、下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

わが国の株式を実質的な主要投資対象とし、日本株運用で実績のある運用会社が運用を行う複数のファンドへ投資を行いました。なお、当ファンドの基準価額は各ファンドの前営業日の基準価額をもとに計算されるため、当ファンドの基準価額の変動に対応する株式市況の変動も前営業日のものとなります。

組入比率

各ファンドへの投資比率はファンド設計に則り、原則として各投資対象ファンドの運用成果に比例した割合としました。

期末時点での各ファンドの投資比率は、（ご参考）投資信託証券別組入比率表をご参照ください。

(ご参考) 投資信託証券別組入比率表

(%)

投資信託証券	(期首) 2021年 9月27日	(期末) 2022年 3月28日	騰落率	運用会社
三菱UFJ国際日本・小型株・ファンド	27.9	26.1	-18.4	三菱UFJ国際投信
三菱UFJ国際日本株・スター・ファンド	16.8	17.4	-9.4	三菱UFJ国際投信
フィデリティ・日本株ファンド	17.6	18.7	-7.3	フィデリティ投信
キャピタル・インターナショナル日本株式ファンド	14.7	15.1	-10.8	キャピタル・インターナショナル
GIMザ・ジャパン	19.2	20.1	-8.9	JPMorgan・アセット・マネジメント

(注) 組入比率は純資産総額に対する投資割合

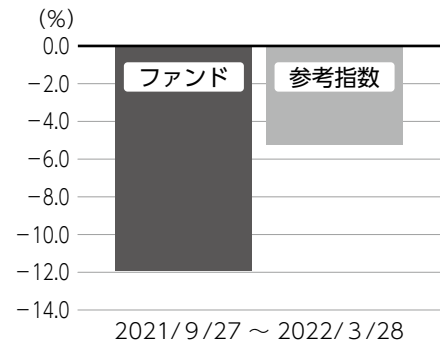
(注) 騰落率は投資対象とする投資信託証券の前営業日の期首・期末での比較

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数は東証株価指数（TOPIX）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第43期
	2021年9月28日～2022年3月28日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	3,444

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

引き続き、各ファンドへの分散投資による運用を継続する方針です。

各投資対象ファンドにおいては、各運用会社のファンドマネジャーが、それぞれ得意とする独自のスタイルで運用しています。これらのファンドに分散投資することで、銘柄発掘・選択効果が効率的に働き、当ファンド全体のパフォーマンス向上に繋がるものと考えています。

引き続き、資金増減に伴う買い付けまたは売り付けは、直前の投資比率に基づいて行います。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

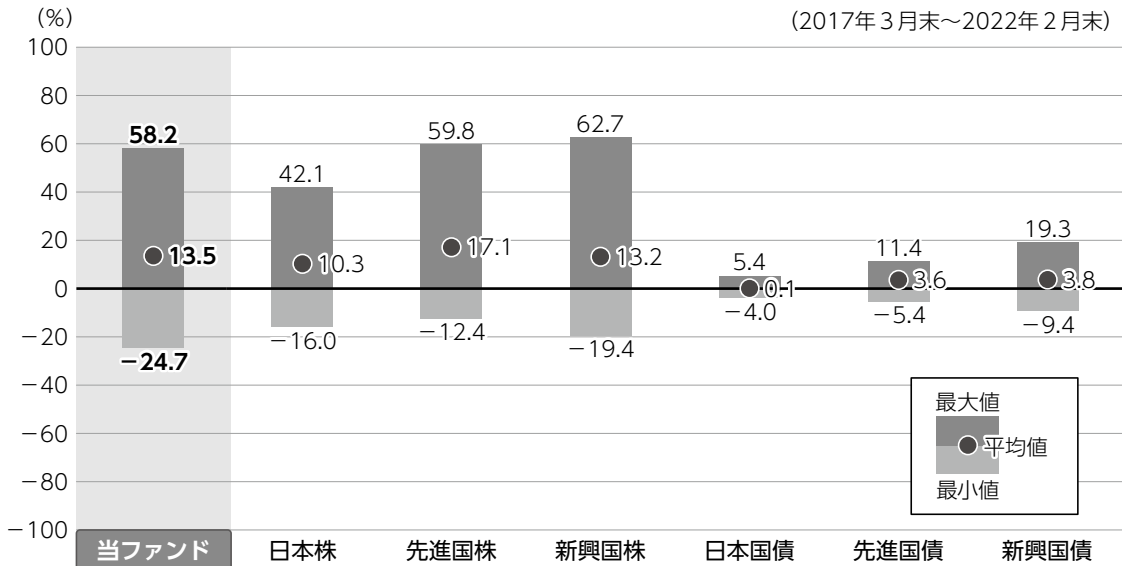
- ・該当事項はありません。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
 なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	無期限（2000年9月28日設定）
運用方針	投資信託証券へ投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目標として運用を行います。
主要投資対象	「三菱UFJ国際日本株・スター・ファンド（適格機関投資家用）」、「フィデリティ・日本株ファンド（適格機関投資家用）」、「キャピタル・インターナショナル日本株式ファンド（適格機関投資家用）」、「GIMザ・ジャパン（適格機関投資家用）」、「三菱UFJ国際日本・小型株・ファンド（適格機関投資家用）」を主要投資対象とします。
運用方法	わが国の株式を実質的な主要投資対象とし、日本株運用で実績のある運用会社が運用を行う複数のファンドへ投資を行うことにより、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2017年3月から2022年2月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2022年3月28日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：5銘柄)

ファンド名	第43期末 2022年3月28日
三菱UFJ国際日本・小型株・ファンド	26.1%
GIMザ・ジャパン	20.1%
フィデリティ・日本株ファンド	18.7%
三菱UFJ国際日本株・スター・ファンド	17.4%
キャピタル・インターナショナル日本株式ファンド	15.1%

※比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

※上記のうち、上位3ファンドについては、「組入上位ファンドの概要」を後掲しています。

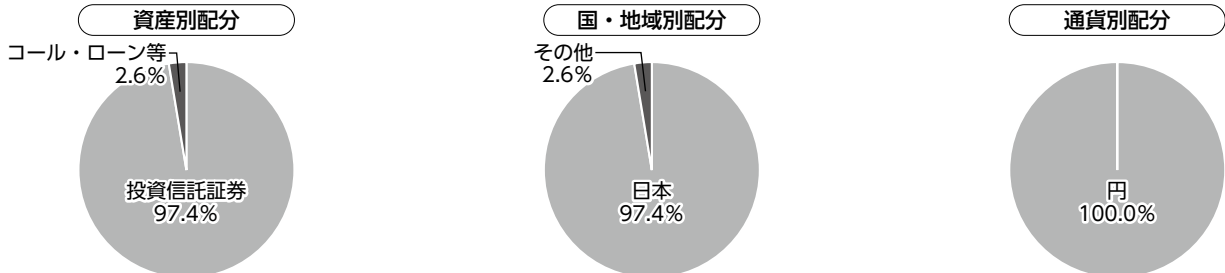
純資産等

項目	第43期末 2022年3月28日
純資産総額 (円)	7,296,864,648
受益権口数 (口)	6,476,017,501
1万口当たり基準価額 (円)	11,268

※当期中において追加設定元本は255,093,525円

同解約元本は 207,077,018円です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

2022年3月25日現在

組入上位ファンドの概要

三菱UFJ国際日本・小型株・ファンド

基準価額の推移

2021年9月24日～2022年3月25日



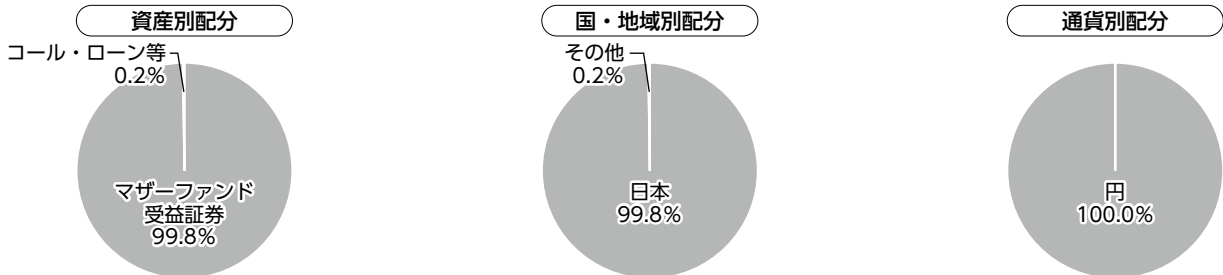
組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第12期末 2022年3月25日
日本・小型株・ファンド・マザーファンド	99.8%

※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
 ※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。
 ※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

1 万口当たりの費用明細

2021年9月25日～2022年3月25日

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	104	0.466	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(98)	(0.439)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(0)	(0.001)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(6)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.033	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(7)	(0.033)	
(c) その他費用	0	0.001	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	111	0.500	

期中の平均基準価額は、22,353円です。

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

- (注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

355013

2021年12月10日現在

組入上位ファンドの概要

日本・小型株・ファンド・マザーファンド

基準価額の推移

2021年6月10日～2021年12月10日



1万口当たりの費用明細

2021年6月11日～2021年12月10日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a) 売買委託手数料	26	0.029
(株 式)	(26)	(0.029)
合計	26	0.029

期中の平均基準価額は、90,152円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

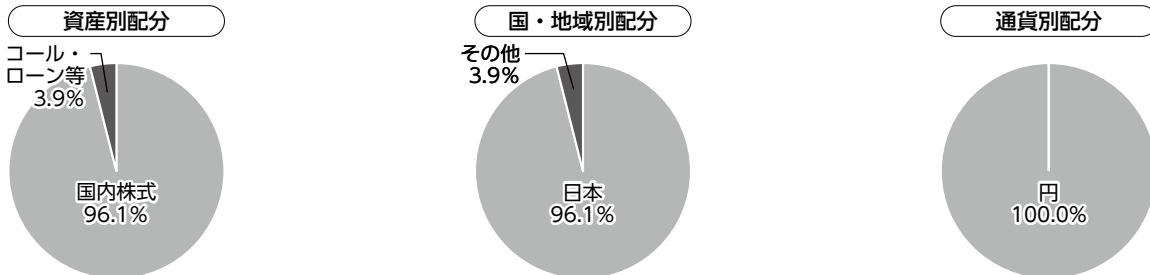
(組入銘柄数：87銘柄)

	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	Sansan	株式	日本	情報・通信業	2.6
2	前田工織	株式	日本	その他製品	2.6
3	MARUWA	株式	日本	ガラス・土石製品	2.6
4	セルソース	株式	日本	医薬品	2.5
5	ペイカレント・コンサルティング	株式	日本	サービス業	2.5
6	SHOEI	株式	日本	その他製品	2.4
7	扶桑化学工業	株式	日本	化学	2.2
8	住友ベークライト	株式	日本	化学	2.2
9	セブテーニ・ホールディングス	株式	日本	サービス業	2.1
10	マネーフォワード	株式	日本	情報・通信業	2.1

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

種別構成等



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

2022年3月25日現在

組入上位ファンドの概要

▶ GIMザ・ジャパン

基準価額の推移

2021年9月24日～2022年3月25日



組入ファンド

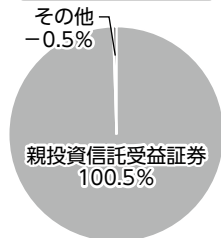
(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第23期末 2022年3月25日
GIMザ・ジャパン・マザーファンド	100.5%

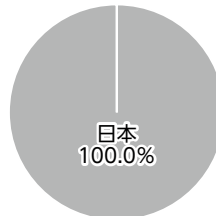
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

種別構成等

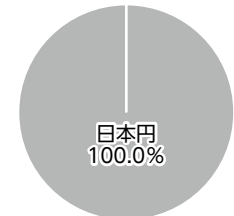
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) その他は現金・預金・その他資産（負債控除後）です。

(注) 国別配分は発行国を表示しています。

1万口当たりの費用明細

2021年9月25日～2022年3月25日

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信託報酬	208	0.466	(a)信託報酬 = [期中の平均基準価額] × 信託報酬率、期中の平均基準価額 (月末値の平均値) は44,580円です。
(投 信 会 社)	(196)	(0.439)	投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(販 売 会 社)	(2)	(0.005)	販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価
(受 託 会 社)	(10)	(0.022)	受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(b)売買委託手数料	7	0.015	(b)売買委託手数料 = $\frac{\text{[期中の売買委託手数料]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}}$
(株 式)	(7)	(0.015)	有価証券の取引等の仲介業務およびこれに付随する業務の対価として証券会社等に支払われる手数料
(c)その他費用	5	0.012	(c)その他費用 = $\frac{\text{[期中のその他費用]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}}$
(監 査 費 用)	(5)	(0.011)	監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	220	0.493	

(注) 期中の費用 (消費税のかかるものは消費税を含む) は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

2021年12月14日現在

組入上位ファンドの概要

▶ G I Mザ・ジャパン・マザーファンド

基準価額の推移

2020年12月14日～2021年12月14日



組入上位10銘柄

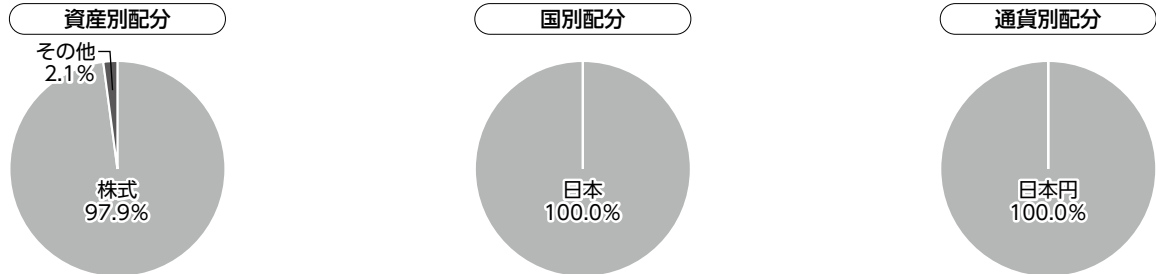
(組入銘柄数：65銘柄)

	銘柄	業種	比率(%)
1	東京製鐵	鉄鋼	3.9
2	ワコム	電気機器	3.5
3	商船三井	海運業	3.3
4	昭和電線ホールディングス	非鉄金属	3.3
5	TREホールディングス	サービス業	3.2
6	アウトソーシング	サービス業	3.1
7	セガサミーホールディングス	機械	3.0
8	日立造船	機械	3.0
9	ソニーグループ	電気機器	2.9
10	日揮ホールディングス	建設業	2.8

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等



(注) 比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) その他は現金・預金・その他資産（負債控除後）です。
 (注) 国別配分は発行国を表示しています。

1万口当たりの費用明細

2020年12月15日～2021年12月14日

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 売買委託手数料	38	0.079	(a) 売買委託手数料 = $\frac{\text{【期中の売買委託手数料】}}{\text{【期中の平均受益権口数】}}$
(株 式)	(38)	(0.079)	有価証券の取引等の仲介業務およびこれに付随する業務の対価として証券会社等に支払われる手数料
(b) その他費用	1	0.001	(b) その他費用 = $\frac{\text{【期中のその他費用】}}{\text{【期中の平均受益権口数】}}$
(そ の 他)	(1)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	39	0.080	

(注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。
 (注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
 (注) 期中の平均基準価額（月末値の平均値）は47,960円です。

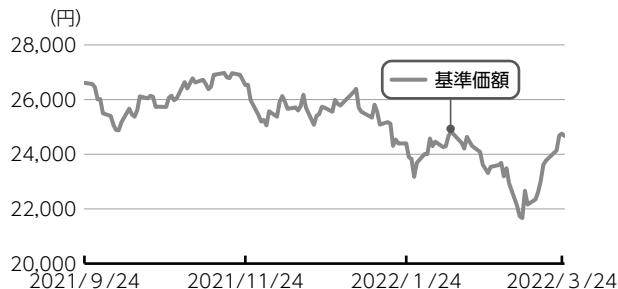
2022年3月25日現在

組入上位ファンドの概要

フィデリティ・日本株ファンド

基準価額の推移

2021年9月24日～2022年3月25日



組入上位10銘柄

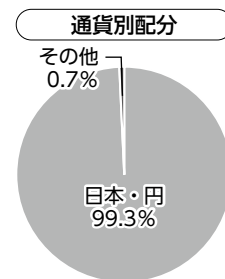
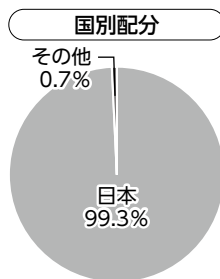
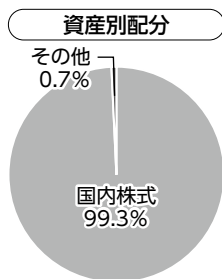
(組入銘柄数：89銘柄)

	銘柄名	通貨	業種	比率(%)
1	東京海上ホールディングス	日本・円	保険業	4.8
2	伊藤忠商事	日本・円	卸売業	4.4
3	オリックス	日本・円	その他金融業	4.3
4	オリエンタルランド	日本・円	サービス業	4.0
5	ミスミグループ本社	日本・円	卸売業	4.0
6	デンソー	日本・円	輸送用機器	3.0
7	日立製作所	日本・円	電気機器	2.9
8	キーエンス	日本・円	電気機器	2.9
9	ソニーグループ	日本・円	電気機器	2.7
10	セブン&アイ・ホールディングス	日本・円	小売業	2.7

※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等



※各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

※国別配分は、発行国・地域を表示しています。

※「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

1万口当たりの費用明細

2021年9月25日～2022年3月25日

項目	第43期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	117	0.466	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は25,114円です。
（投信会社）	(110)	(0.439)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(0)	(0.001)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理及び事務手続き等の対価
（受託会社）	(7)	(0.027)	運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.019	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 / 期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(5)	(0.019)	
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 / 期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	5	0.019	(d) その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.001)	保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。
（監査費用）	(4)	(0.018)	監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用
（その他）	(—)	(—)	その他には、法定書類等（有価証券届出書、目論見書、運用報告書等）の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。
合 計	127	0.504	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

指数に関して

▶ ファンドの参考指数である『東証株価指数（TOPIX）』について

東証株価指数（TOPIX）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの指数値及びそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。参考指数は前営業日の数値を用いています。

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

● 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る商標又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る商標又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

● MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

● FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

● JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信